

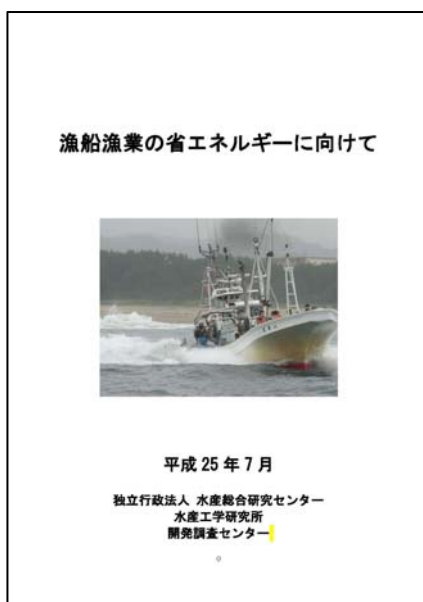
漁船の省エネルギー方法の普及と啓蒙

水産業システム研究センター

研究の背景・目的

昨今の漁船燃料費の高騰により、漁船漁業の経営は大変逼迫しています。この状況の中で漁家経営の安定化、省コスト化を進めるには、省エネルギー型漁業への転換が必要不可欠です。水産工学研究所は開発調査センターとともに、漁船漁業の省エネルギー化を推進する方法について調査研究を行ってきました。

研究成果



漁船漁業の省エネ化のための理論と実例を取り纏めたガイドブック「漁船漁業の省エネルギーに向けて」では、実例に基づいた漁船の運用による省エネ方法と、船体や機関部の改造、漁具の変更等による省エネ方法について解説しています。また、漁業者向け普及用冊子として、ガイドブックに記載された省エネ方法の要点について、漁業種別に簡易に取り纏めた「漁船操船者用パンフレット」を作成しました。さらに、漁業者が携帯端末などを用いて、漁船のトン数、長さ、幅、深さ、平均航行速度、エンジンの回転数、馬力等のデータを入力することで、減速航行による燃料削減量を簡単に計算できるソフトウェア『Dr. 省エネ』を作成しました。

波及効果

これらの資料と燃料削減量概算ソフトは、水産工学研究所ホームページで無料公開しています。これらを漁業現場で活用して戴き、地域の漁船漁業の省エネ化の普及促進や、省エネ型漁業への転換に弾みがつくことを期待しています。

○漁船漁業の省エネルギーに向けて(ガイドブック)

<http://nrife.fra.affrc.go.jp/seika/syouene/guide.pdf>

○漁船操船者用パンフレット

<http://nrife.fra.affrc.go.jp/seika/syouene/pamph.pdf>

○燃料削減量概算ソフト『Dr. 省エネ』

<http://ecofish.job.affrc.go.jp/>

開発調査センターとの共同研究成果です。

(水産業システム研究センター: 明田定満)